

高輪会会報

Reunion of Tokai University Takanawadai Senior High School



東海大学付属高輪台高等学校同窓会会報

発行所：東海大学付属高輪台高等学校同窓会
〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16
Tel.03-3448-4011 Fax.03-3448-4020



Vol.9

「高輪会」は、電気通信工業学校、電波工業学校、東海工業学校、東海高等学校・併設東海中学校、東海電波高等学校、東海大学高輪台高等学校、および東海大学付属高輪台高等学校の同窓会です。

題字は東海大学総長松前達郎先生

若人の集い

若いパワーを高輪会へ

高輪会では、会員皆様との親睦を図るため、「総会」・「いとし会」と同窓会活動を行っておりますが、予ねてより若い会員も気軽に参加できる企画を催し、もっと同窓会を活性化したいと考えておりました。そこで、高輪会をより発展させるために、若い皆様のアイデアを取り入れ、活発な意見を伺いたいとの考えに基づいて、平成15年9月6日(土)、「高輪会 若人の集い」を開催致しました。

今回は、平成9年度～平成15年度のクラス幹事(30名)・高輪会役員(9名)・先生、職員の方々(8名)と約50名の皆様に参加して頂きました。

東京の夜景をバックに屋形船での食事をしながら、自己紹介、活発なディスカッション、カラオケ大会と有意義な2時間を過ごし、盛会の内に終わりました。

今回「若人懇親会」は、初めての企画でしたが、参加して頂いた若い会員の皆様からは、『減多に乗れない屋形船での食事は、料理もおいしくとても良かった。今回のような食事会であれば、若い人に人気のコンセプト・レストランで開くというのもおもしろいと思う。会費を安くするのは魅力で

すね又、食事会ではどうしても知り合い同士で固まってしまうので、学年をバラバラにして、ボーリングなど皆が参加できるものを通じて、交流を図るのもよいのでは。折角、卒業生の皆さんと知り合えるチャンスがあるのですから、これからも幅広い年齢層の方々とお話しをしたいので、もっと親睦会を開催してほしい。』等、貴重なご意見を頂きました。

今後の方向としては、会員皆様の意見を取り入れながら、高輪会会員の親睦だけではなく、会員の仕事や日常生活に役立つ幅広いネットワーク作り、各種セミナー、イベント等も企画していきたいと考えております。そして活動するに当たっては、限られた年齢層に偏らず幅広く、特に若い高輪会会員に活躍して頂き、視野を広げる組織作りを進め、エネルギー溢れる高輪会にしていきたいと思っています。

是非、若い高輪会会員皆様の積極的参加を希望しております。



我等が高輪会



高輪会会長 土方 啓司

高輪会会員の皆様におかれましては、益々ご清栄の御事とお慶び申し上げます。

我等が母校は、前身となる「電気通信工学校」から始まって「電気通信工業学校」「電波工業学校」「東海工業学校」「東海高等学校」「東海電波高等学校」「東海大学高輪台高等学校」と幾多の変遷を経て現在の「東海大学付属高輪台高等学校」となっておりまゐりました。会員の皆様方はいずれかの校名の中に青春の思い出を持たれていることと思われまゐります。その母校が本年「創立 60 周年」の記念すべき年を迎えることになり、我々卒業生にとっても非常に嬉しいことでもあります。近年の母校の進展振りは目覚ましいものがあり、その時々で会報に掲載し皆様方に報告させていただきました。本年初頭には総合グラウンド内に建設中であつたクラブハウスの落成式が挙行されました。更に 4 月には高輪台高等学校が、文部科学省が進めている「スーパーサイエンスハイスクール（略称 SSH）」指定校に認定されました。教育環境の整備に加え内容面での充実が重なり、内外からの評価が益々高まっている中での 60 周年記念は卒業生である我々にとって誇りでもあります。

東海大学付属高輪台高等学校同窓会も不幸な一時期を経た後、高輪会として再出発してから 9 年、今年の新会員を迎え総勢 21,275 名を有する大きな同窓会となりました。高輪会の総会は 3 年に 1 回となっており、総会から次の総会までの 3 年間のどのような活動をするかは高輪会役員の課題でもありました。前回総会からの 3 年間の顧みまゐると、一昨年は「第二回いとし会」を開催し懐かしい皆様と再会をすることができました。昨年は屋形船での「若人懇親会」を催し若き同窓生の息吹を再確認することができました。これらの高輪会活動を経て、今年は高輪会第四回総会の年となりました。高輪会活動も総会から次の総会までの 3 年間、ようやくその方向が見えてまいりました。前回、前々回の総会は母校にて開催しましたが、今回は趣を変えて東海大学校友会館での開催を計画しております。国会議事堂・官庁街を眼下にしながら会員の皆様方と共に楽しい語らひのもと、思い出に残るパーティにしたいと願っております。第一回卒業生から第五十五回卒業生まで、一人でも多くの皆様に参加されることを心からお待ちしております。

第4回総会に向けて

総会実行委員長 杉山 守男



今年は、第 4 回高輪会総会の年です。2001 年度総会から早や 3 年が経過しました。この間には、「第 2 回いとし会」や若い世代を対象とした「屋形船」による懇親会を実施し、多くの高輪会会員の参加をいただき、誠にありがとうございました。

また、今年は学校行事として「創立 60 周年」を迎える記念すべき年でもあります。高輪会と致しましては、今年 1 月に総合グラウンド「クラブハウス」の落成式が挙行され記念樹を進呈し、60 周年記念にあたりましては、学校の要望にお応えしトヨタ「ウィッシュ」を寄贈することになりました。

この創立 60 周年記念と平行して、10 月 2 日（土）に高輪会総会を行うことになりました。従来の総会は、高輪台高等学校をお借りし開催して参りましたが、今回は雰囲気を変え、霞が関ビル 33 階にあります「東海大学校友会館」で開催する運びとなり、役員一同準備に邁進しております。

60 周年を迎え、高輪会の会員数は約 2 万人を超えるに至っております。しかし、会員の総判明数は、残念ながら半数強となっております。高輪会と致しましても会員の所在確認に努力してまいりましたが、我々の期待しております実績には、未だ到達していないのが現状です。今後もあらゆる機会を通じて、会員の所在確認を進めていきたいと思ひますので、皆様のご協力をお願い致します。

さて、先日「東海大学校友会館」に出向き事前に会場を視察して参りました。今回高輪会総会を開催する会場は、皇居を眺望できる最高のロケーションです。このような雰囲気の中での総会で、会員の皆様が満喫していただける様、役員スタッフ一丸となってサポートしてまいりたいと思ひます。

是非、皆様お知り合いの同窓生をお誘い合わせの上、一人でも多くの会員の方々に参加していただき、総会を盛り上げていただけます様、役員一同願っております。

第4回高輪会総会のご案内

日 時：平成16年10月2日(土) 13時00分～16時00分
(総会後懇親会を行います。)

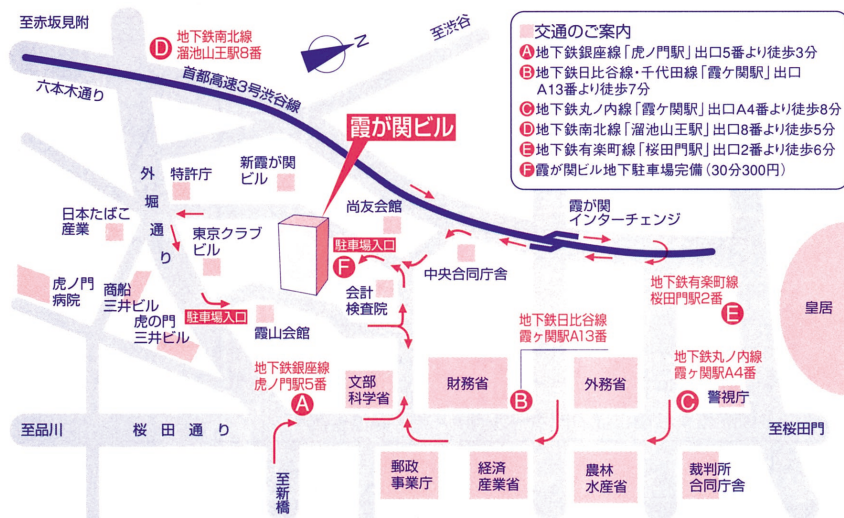
場 所：東海大学校友会館霞が関ビル33階(望星の間)

会 費：無 料

問い合わせ：高輪会事務局(藤原広司先生)

TEL：03-3448-4011 FAX：03-3448-4020

※経費削減のため、出席される方のみ同封のハガキにて9月22日迄にご投函をお願い致します。



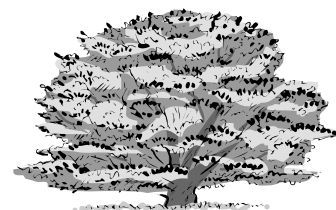
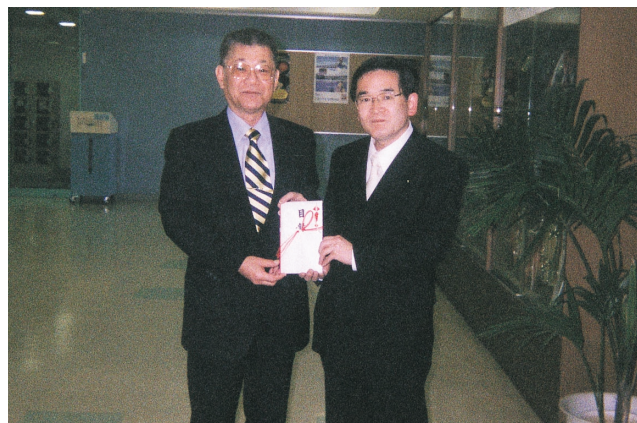
高輪会より部活動後援会への贈呈

2003年9月に予てからの念願でありました総合グラウンドを開設することが出来ました。総合グラウンドは「さいたま新都心駅」から徒歩15分、31,469,64㎡(9,519.57坪)の面積を有し、東京ドームの約2.5倍の広さに野球場・サッカー場・(兼ラグビー場・陸上競技場)・テニスコート4面、80台以上駐車可能な大駐車場も設置され、2004年1月には、クラブハウスも完成し、今後はナイター設備も予定しています。

そして、陸上部・野球部・ソフトテニス部・柔道部・アーチェリー部等多くの運動部が東京都でベスト8～32に入るなど好成績を残しています。今後も幾つかの部が、全国・関東大会等に出場出来ることと大いに期待しています。又、文化部においては、吹奏楽部・放送部・写真部が活躍しています。

高輪会では、これらの部活動に鑑み「部活動後援会」の主旨に賛同し、2004年3月6日(土)の卒業式当日、土方啓司高輪会会長より部活動後援会森 八一会長に、「金100万円」が贈呈されました。

今後の活動資金として、有効に活用され、少しでも母校の発展の一助になれば幸いです。



同期会

東海高校昭和 27 年卒同期会

「元気だから会える」と「元気なうちに大いに会おう」を合言葉に、毎年開催することを目標にしています。

平成 15 年度は、9 月 27 日、新宿西口小田急本館 13 階の「さがみ」にて開催。

今回は突然の病氣入院からめでたく帰還した伊藤君の快気祝いを兼ねてということだったが、当日たまたま JR 中央線の線路工事で三鷹―立川間混乱の事態が発生し、残念ながら松田が出席を断念、また常連の寺門、内堀が所用重なり欠席などから、参集者は田島、小長井、生井沢、黒尾、伊藤、宮崎、須賀の 7 名に留まりました。

高輪会会報第 5 号の高輪写真館に掲載されている懐かしい中野の校舎に入学し、高輪台の校舎から巣立った我等 3 期生。卒業から半世紀が過ぎ、ほぼ全員すでに古希を迎えました。残念ながら消息がつかめない友人も多くあり、集まりの度に、卒業からの歳月の長さを実感しています。

高校同窓会の役員をしている伊藤より母校の近況などあり、談笑の中にお互い元気で再会を約して散会した。



第 3 回ベースマン杯野球大会

昭和 62 年卒 榎原 央

我々は、前々任の穂積監督（当校卒業）の卒部生にて構成しております。

チーム名は「東海高輪ベースボールチーム」です。

「元巨人軍小島投手の代」「高輪台高校、あわや甲子園」の準決勝進出した前後メンバーを中心に、その後、東東京のシード校として君臨していた良き時代のメンバーまでが入部しております。

今大会においては、帝京・国士館・二松学舎の OB が在籍するチームから、耳の不自由な方々が在籍されているチームまで様々なチームを倒して頂点に立ちました。

「甲子園」には出られなかったメンバーが、ついに参加 88 チームの頂点に立ち感慨深いものがありました。（平成 15 年 11 月 9 日（日）第 3 回ベースマン杯野球大会決勝戦で我がチームが優勝しました。）

今後、この記事を見た野球部 OB が、一人でも多くチームに入部し、旧交を温められたら幸いです。

「是非、野球部卒業生の一人でも多い参加をお待ちしております。」

▼優勝に輝いた東海大高輪台 B.B.T のメンバー！



▼優勝カップを受取る東海大高輪台 B.B.T 榎原選手



会費納入者一覧

以下の方は、2000年4月より2004年8月31日までの会費納入者です。(卒業年度順)

熊雄	吉田	申一	沢	健之	村田	良夫	守田	晃	田丸	金也	石橋	明久	鈴木	卓	山川	直彦
和夫	松田	公治	齊藤	忠一	斎藤	信二	渡辺	道彦	長門	秀久	磯田	義行	関根	寛	山崎	充康
義弘	大島	巖	西島	正春	松本	仁志	内村	宏幸	沼沢	秀明	大竹	基之	富井	満雄	吉川	征孝
一三	田辺	英之	吉田	功	青木	兼昭	柴田	富雄	野沢	秀治	荻野	英之	長谷川	和義	青野	雅人
一郎	稲上	晴邦	鈴木	宏明	後藤	有三	前田	周司	村田	和夫	桑島	康弘	松田	孝彦	伊藤	卓男
強	渡辺	釣	長谷川	健美	佐々木	幸市	大滝	清三	田中	和一	小山	裕一	丸田	進	田子	敏久
昇	小長井	昭司	細澤	欽一	瀧口	信昭	金規	輝彦	飯島	和弘	坂下	康二	山本	芳樹	渡邊	陽平
道弘	田島	昇	間下	幸幸	平林	信喜	阪本	好正	佐藤	正美	東郷	光	片岡	征喜	稲垣	尚久
隆司	加納	康督	福本	啓之助	安田	信義	佐々木	博之	村石	匡規	藤原	光	石谷	融也	鴨田	英
正弘	中沢	良則	丸山	和信	片山	文夫	竹村	俊彦	二村	文啓	遠藤	剛	小菅	成一	青木	孝平
暉夫	中原	将之	横山	恒介	大塚	哲夫	八木	伸夫	谷口	正弘	泉谷	誠治	伊藤	慎也	飯田	勝則
金蔵	谷越	安男	北野	輝夫	鈴木	武	田中	吉田	飯塚	佐一	楠本	隆	金子	伸宏	小島	敏幸
一郎	市川	京子	宮崎	家	田中	力	吉田	洋	尾花	尊彦	三谷	望月	松田	和之	佐久間	泰郎
武男	小林	道治	斎藤	亜夫	土橋	美知	吉田	逸	徳永	泰弘	井上	泰之	茂出木	成幸	田島	隆充
浩三	千代田	栄	大野	英彦	馬場	徳芳	石川	邦雄	西崎	成浩	越智	孝司	八重樫	要	中園	修一
昭次	吉田	孝雄	飯岡	義弘	清水	精二	店網	秀雄	林	克己	谷中	和利	青木	善紀	波多野	拓也
昭治	松原	健次	中村	宗孝	藤井	広明	菊池	輝久	溝口	仁	浅見	俊治	卯野木	寛	高原	文彦
英二	大槻	喜弘	灰田	栄松	宮澤	忠	小倉	信行	山口	浩之	平	博	小野	孝司	宇田川	源
文彦	砂川	忠義	笠松	仁	緑川	一郎	小出	高広	横川	則之	立川	勤	嘉門	真宏	大越	健宏
孝司	吉岡	信男	加藤	泰夫	平手	利幸	佐藤	恒二	小林	栄世	高橋	努	木内	哲也	松本	仁志
睦	新井	雅人	佐藤	亮	嘉藤	元昭	清水	由基	川田	淳	風間	鳥海	今野	益男	青木	孝平
倉	飯島	憲正	松田	亮	赤羽	光次	杉浦	健一	森	達郎	鳥山	文雄	野島	耕太	山本	健太郎
義勝	梅沢	康弘	赤瀬	要	椎木	俊昭	星	孝二	近藤	光浩	佐藤	満博	羽村	耕太郎	長澤	良和
正光	岸本	正	岡本	好弘	萩原	治生	松本	淳	井上	久裕	佐藤	健治	斎藤	明裕	北澤	和人
順之助	高岩	邦敏	酒井	幸治	萩原	治生	水野	正夫	新井	徳之	下村	英樹	飯田	泰基	鈴木	隆文
新八	星野	王	佐藤	一石	杉山	守男	宮下	真喜雄	井上	直輝	高橋	豊	井口	崇之	福岡	健太
実	竹村	俊雄	杉山	守男	高橋	弘志	村越	真喜雄	井上	直輝	高橋	豊	岩崎	崇之	荒川	佳之
芳郎	橋	寿一	田中	嘉章	谷井	明	碓井	斗治	上草	英敏	日比野	隆行	木賀	大輔	横山	裕司
善治	田村	吉弘	原田	礼志	石井	幹夫	石坪	健一	小池	康生	水島	隆行	倉持	健一	清水	正芳
七郎	横尾	紀憲	長谷川	礼志	石黒	孝夫	岡本	吾朗	中村	喜一	森	康昭	小林	健一	伊藤	健郎
慶治	小林	正二	原田	武志	一条	康磨	松本	努	増子	忠広	山口	朝昭	清水	敏之	落合	真人
享平	佐藤	一路	平野	泰宏	富正	清裕	犬井	謙太郎	宇留間	敦司	渡辺	清隆	谷澤	道彦	風間	晶洋
武雄	重田	重幸	三浦	政彦	古川	清裕	浅羽	弘益	小多加	志	新妻	吾郎	中村	道彦	小林	太郎
重隆	菅野	克彦	宮崎	淳	本沢	賢治	伊藤	光一	関塚	禎人	蓮沼	和久	濱組	晃	柴崎	伸行
順之助	敦賀	喜悦郎	吉田	光雄	森	勤	河原田	耕一	茂野	敏昭	嶋田	圭市	林	啓太	原	和彦
六郎	田中	力	渡邊	一男	渡辺	純治	岸	広昭	新保	直記	小島	健	大井	淳	村田	健児
巖	中村	正智	武井	良友	有田	福男	坂本	俊一	菅野	博史	堀田	健	森	英二郎	村野	太郎
幸平	原田	佳典	伊東	保	須田	英敏	塩沢	茂秀	菅野	康弘	小林	英夫	大津	智弘	村野	太郎
健一	中島	勇	丸田	秀雄	重野	吉治	西宮	弘之	巴	誠一	清水	栄	木内	博康	熊澤	文久
昌	鈴木	盛男	田所	道彦	富田	健治郎	渡邊	博史	長瀬	博史	小島	元雄	北垣	和孝	橋本	洋平
弘安	片桐	昇一	中村	洋介	森井	政明	田中	健一	日比野	晃久	中村	一博	谷	道弘	徳田	和人
貞男	黒須	俊吾	中島	正明	柳町	幸夫	篠山	弘樹	藤池	真	夏	錦言	濱崎	道雄	白川	伸一
慶男	波多	啓司	中島	正明	柳町	幸夫	飯島	真一	村田	悦男	藤林	勝三	根来	憲和	菅谷	勝将
禎三	土方	智	杉田	幸雄	高橋	精司	佐野	義孝	劉東	博規	中村	会田	真野	光司	尾形	聡一郎
和夫	藤尾	弘	磯貝	幸雄	浅井	宏	関	隆	馬場	朗	今江	祐司	森	康裕	千葉	祥太
博匡	山崎	洋一	市川	喜平	奥本	秀樹	直井	聡	藤卷	昭	神崎	喜和	八太	秀和	小松崎	孝
富雄	芥川	兼三	伊藤	兼夫	加藤	克明	中田	敦	落合	正人	桑原	孝治	吉野	洋平	荒木	宗司
誠	池田	鵬	梅原	善弘	服部	忠昭	宮沢	靖	亀井	弘行	五島	明宏	大滝	憲治	安部	史
昭夫	石塚	雅一	高田	晴雄	前田	利一	山下	晃	米森	博仁	羽村	章吾	鴨下	謙介	松野	尾亜季
内昭夫	大塚	昭	神戸	新太郎	梁瀬	吉成	佐久間	信次	北里	栄一	矢野	将治	菅井	祐宏	大塚	文敦
正三	上条	秀夫	白井	泰徳	杉田	悟	滝口	弘志	松岡	洋一郎	須賀	収	須田	智彦	渡辺	隆介
清生	小林	俊夫	高松	聡	戸塚	修一	鈴木	成稔	門馬	泰史	嘉藤	慎也	須藤	永巨		
将夫	小本	良宏	初川	進一郎	浅野	伸一	大島	悟	遠藤	浩史	石原	秀一	高橋	敦		
是光	海老澤	正昭	久松	博	浅野	伸一	買場	光雄	倉島	宏行	風間	義徳	中田	大介		
秀夫	原田	広正	藤田	繁	向坂	博道	小林	敏治	勝又	泰平	尾崎	秀幸	永野	亮一		
弘	林	義孝	町田	晴男	須藤	道明	三瓶	慎一	河野	千万樹	倉川	智博	原田	謙一		
道明	飯田	道夫	實	寿夫	千葉	守夫	谷口	元	青木	忠幸	佐藤	寛	増島	広通		

さらに大きな改革 を目指して

校長
杉 一郎



前鈴木校長の後任として、この4月から私が、本校の校長（学校法人東海大学法人企画調整機構・初等中等教育部長兼務）に就任いたしました。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、本校では、1998年の男女共学化、新校舎建設に始まり、二期制の採用、教育改革キャラバンの実施、英語教育の充実、総合グラウンドの開設、クラブハウスの竣工など、数々の改革を進めて参りました。創立60周年（12月11日には、記念式典を予定しております。）を迎えた今年は、この改革の波を更に大きなものへと発展させたいと、以下のような方針を立てました。

まずは、本学園で2004年度から導入された、「初等中等教育機関教員総合人事制度」により、更なる教育力の向上と、教育現場の活性化を目指したいと考えています。この制度は、資格制度、人事考課制度などにより、教員個々のスキルアップを狙いとしています。また、これまで行ってきた「授業評価アンケート」を大きく変化させ、生徒から求められた授業の変更・改革点を個々の教員、かつ教科全体でどのように捉え、改善していくのかの目標を明確に立てて、今回のアンケートまでに、実際に改革が進んだ様子を分析・検討いたします。さらに、後援会の協力をいただき、教育力の優れた教員を「ベストティーチャー」として表彰していただく制度も創っていただきました。本校では、在籍生徒が21世紀の国際社会を生き抜くために、英語教育に力を入れてきました。（昨年度卒業生の内、約73%が英検準2級以上を取得しています。）が、さらに今年度は、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けました。SSHは、理系離れの進む現状に歯止めを掛け、日本の理数系教育を立て直すために、3年間で全国の高校から72校を指定し、現行の指導要領によらない、理数系教育、指導方法の開発・研究を進めるものです。1校当たり初年度年間約2000万円の予算を与え成果を報告させるもので、東京ではわずか4校（本校の他に、筑波大学附属駒場高等学校、東京工業大学工学部附属工業高等学校、都立戸山高等学校）、また、私立高校としては全国で6校（本校の他に、早稲田大学本庄高等学校、立命館高等学校、西大和学園高等学校、慶應義塾高等学校、芝浦工業大学柏高等学校）のみが選ばれており、現在全国の大学、研究所等と連携し、ユニークな授業を展開しております。こうした学習、研究面とは別に、部活動においては、野球部、サッカー部、男子バスケットボール部、柔道部（男子）、吹奏楽部の5つの部を本校の学力水準を維持した上での重点強化部として指定し、コーチを付けるなど、バックアップしていくと共に、総合グラウンド野球場の夜間照明、ネットフェンスの設備改修、テニスコートの改修などを進めて参ります。

なお、これらの学校改革のお知らせなどは、学校報「飛躍」

に順次掲載しておりますので、今年度より本校ホームページ（www.takanawadai.tokai.ed.jp/）上でも「学校報飛躍」を閲覧できるようになりましたので、是非ご覧下さい。

高輪会の皆様におかれましては、これから益々向上、改革されていく本校をいつまでも温かく見つめていただきまして、バックアップしていただきますようお願いいたします。

頑張る高輪台高校

教頭
片桐 知己治



今年もたくさんの教職員の異動がありました。杉先生を校長に迎え、昨年まで高輪会のお手伝いをさせていただいていた中島先生のデンマークへの出向を始めとして、専任・非常勤含めると、30名以上の教員の異動があり、平均年齢が40歳を下回りました。ベテラン、新人を問わず、全教員が授業、生徒指導、部活動の指導に全力を尽くしています。その成果の一つとして、昨年度では、柔道部の国民体育大会3位、吹奏楽部全国大会金賞受賞（2年連続）、アーチェリー部全国高校選抜アーチェリー大会出場、放送部NHK杯全国高校放送コンテスト出場、写真部全国高等学校総合文化祭奨励賞受賞、陸上競技部関東大会4位（男子三段跳び）、剣道部関東大会出場、そして、今年度ここのまで、柔道部関東大会16位、陸上競技部関東大会10位（男子三段跳び）、ソフトテニス部インターハイ出場決定、ダンス部日本大会出場決定と、たくさんの部活動が頑張っております。運動部では、ほとんどの部が、東京都でベスト8～32に入っていて、上記の部活動以外にも、今後いくつかの部が全国・関東大会に駒を進めていくことになると思います。このような学習と部活動が両立できる学校環境を始めとして、充実した英語教育、徹底した生徒指導、高校・大学7年間の一貫教育など、本校の教育内容が高く評価され、今年度定員を大きく上回る613名の新入生を迎え、3学年で33クラス、1,644名の生徒が本校で学んでいます。

本校の隠れた特徴の一つに、教育実習生の多さが挙げられます。今年も高輪会理事の鶴岡薫さん、池田文さんを始めとする皆さんの実習生を受け入れ、春だけでは受け持つことが出来ず、秋にも実習生の指導をいたします。本校を希望しながら、受け入れ可能人数の制限のため別の学校で実習を行った卒業生の方々も多く、申し訳ないなあと思っています。数年前、将来の職業希望のアンケートを採ったところ、ダントツ1位が教職だったことに驚いたことを覚えています。それだけ、本校での学生生活が充実しているんだろうなあと思いました。さて、これからも、ますます質の高い教育、指導を実践するよう、全教職員頑張っておりますが、高輪会のみならず皆様のご協力をいただき、レベルアップを図っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

新人先生紹介

「17年目の新人」

高橋 昇

「新人離れ」と言えば聞こえはいいが、私の場合はいささか事情が異なる。今春、付属望洋高等学校から着任しました。

高校生として、教育実習生として、講師として、そして専任教員として高輪台高校と接点を共有できて光栄に思っています。年齢は抜きに、気持ちだけは新人として、老体に鞭打って頑張ります。よろしくお願い致します。



「スタートラインに立って」

高橋 佑未子

長い間夢に見てきた『教師』という職業を、この高輪台高校でスタートできたことを喜ばしく思います。可能性に満ち溢れた生徒達、彼らのために一生懸命汗を流す同僚に囲まれ、毎日『内省と改善』をモットーに、生徒達が充実した学校生活を送れるよう、より一層努力していくつもりです。



「不変から普遍へ」

高林 茂

何もかもが新しくなった高輪台高校ですが、教師としてなすべきことには些かも変わりがありません。「乏しい自分自身をもって他を教えることは難しい。しかしながら、人間は他を教え、その人が信念を確立してくれることが、私の信念を確立せしめる所以である。」私淑する故中村清先生の教えを実践するのみです。



「生徒とともに」

キム・ホジョン

こんにちは。今年東海大学付属望星高校からきました。キム・ホジョンです。

教科は保健体育科で1年9組の担任、そして女子バレーボール部顧問をしています。出身は韓国のソウルです。生徒ひとり一人がけじめのある学校生活を送り信頼できる本当の友達を見つけられるよう手助けしていきたいと思います。よろしくお願い致します。



「さまざまな活動の中で」

石井 良

付属翔洋高校、付属望星高校静岡校での非常勤講師を経て、付属高輪台高校に赴任いたしました。理科、2年7組、物理化学部を担当しております。

普段の授業はもちろんのこと、SSH活動や部活動、HR活動などを通して、生徒たちにサイエンスの楽しさを伝えていきたいと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



「新たなる挑戦」

山口 恵美子

今年4月より東海大学付属高輪台高等学校で芸術（音楽）担当、2年8組担任、吹奏楽顧問をさせて頂いております。

初めての担任、部活動と初めて尽くしですが、生徒一人一人が楽しい授業、楽しいクラス、楽しい部活動だったと思ってもらえるような教師になりたいと思い、日々努力しております。どうぞよろしくお願い致します。



学校報告・部活紹介

・柔道部

2004年度は、4月に新入生12名が新たに入学し部員38名で新スタートをいたしました。主将高平を中心に、部員一同日々激しい練習に励んでいます。

先日行われました関東大会では、予選リーグを勝ち、決勝トーナメントにこまを進めることが出来ました。惜しくも、神奈川県代表の桐蔭学園高校(春の全国高校選手権大会3位)に敗れてしまいましたが、終始白熱した試合をすることが出来、選手には手ごたえを感じた大会だったと思います。(ベスト16)

大会結果

第52回 関東高等学校柔道大会

3年連続 11回目出場 団体ベスト16

個人出場

全国高校総体東京都大会

2年連続

団体3位

個人2位・5位



・ソフトテニス部

「インターハイ出場」

顧問 野々村 淳

2004年5月30日に行われた、インターハイ東京都予選において、日渡雄太(2年)・畔高祐真(2年)組が東京都ベスト8に入賞し、8月5日から島根県松江市で行われるインターハイに出場することになりました。

天候不順で大会が2週間も延期さ



れたなか、2人はコンディションを崩さず頑張ってくれました。

本大会では、チャレンジャーとして精一杯相手に向かっていくテニスをしてくれるものと期待しています。

応援をよろしくお願いいたします。

・吹奏楽部

私達吹奏楽部は、今年のスローガンである「日々響創」をかね、コンクールと定期演奏会を2本柱とし、毎日楽しく充実した活動をさせていただいています。

昨年度は、全国大会2年連続金賞受賞することが出来ました。また、11月に行われた第14回定期演奏会では2公演ともに満員のお客様に囲まれ盛大なステージとなりました。

今年も昨年に負けないうくらい活躍できるよう目標に向け、頑張っていきたいと思っています。応援よろしくお願いいたします。



・サッカー部

監督 吉川 博人

サッカー部は、2004年度から強化指定部として活動しています。

活動方針は、今までと大きく変わることはありません。しかし、活動内容は今まで以上に活発にしていきたいと考えています。コーチに川島純一先生を迎え、東京都ベスト4を目標に生徒は日々努力しています。

文武両道を合言葉に本校を盛り上げていきたいと思っています。



・陸上競技部

飯田 雅美

昨秋の新人大会において、中川君が男子三段跳で支部大会・都大会ともに優勝をし、関東大会で4位になりました。この事が陸上競技部全体に勢いを与えたのか、7月の都大会には7名が9種目で出場を決めました。

今後も多くの部員がより高い目標に向かって結果を残せるよう、努力を惜しまずがんばって欲しいと思っています。



■第40回建学祭のお知らせ

今年度の建学祭は、10月9日(土)～10日(日)の日程で、行われます。建学祭実行委員は、限られた時間の中で、建学祭がより楽しく、盛り上がるように計画しています。

高輪会会員の皆様も是非ご来校いただき、私達の活動を見ていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



■学校・同窓会行事(2004年8月～12月)

- | | |
|-----------|--|
| 8月 1日(日) | 学園オリンピック(国語・数学・英語・理科・造形・地財)(7月31日(土)～5日) |
| 6日(金) | 学園オリンピック(スポーツ競技大会)(～8日(日)) |
| 9日(月) | 学園教職員一斉休暇(～15日(日)) |
| 16日(月) | 特設・希望者講習(～27日(金)) |
| 28日(土) | 保護者交流懇談会 |
| 9月 1日(水) | 避難訓練・朝礼・授業開始 |
| 2日(木) | 3年学年集会 |
| 3日(金) | 学園基礎学力総合試験・外部実力試験 |
| 4日(土) | 後援会委員総会 |
| 6日(月) | 中学校巡回 |
| 13日(月) | 前期期末試験(～16日(金)) |
| 21日(火) | 生徒による授業評価アンケート |
| 25日(土) | 1・2・3年保護者会(成績発表・家庭通知書配布等) |
| 27日(月) | 1年スポーツ大会 |
| 28日(火) | 3年スポーツ大会 |
| 10月 1日(金) | 都民の日(休業日) |
| 2日(土) | 高輪会総会 |
| 4日(月) | 後期始業式・後期授業開始 |
| 5日(火) | 中学校・塾教員学校説明見学会 |
| 9日(土) | 第40回建学祭(～10日(日)) |
| 12日(火) | 第3回体育祭 |
| 16日(土) | 英語検定試験 |
| 17日(日) | 第2回受験生・保護者学校説明見学会 |
| 18日(月) | 2年保護者面談(～11月20日(土)) |
| 21日(木) | 1年進路説明会 |
| 28日(木) | 1年学年集会 |
| 11月 1日(水) | 建学記念日(生徒休業日) |
| 2日(木) | 創立61周年記念式典 |
| 4日(木) | 生徒会立会演説会 |
| 5日(金) | 後援会湘南校舎見学研修会 |
| 6日(土) | 第3回受験生・保護者学校説明見学会 |
| 18日(木) | 第2回一斉公開授業(～19日(金)) |
| 30日(火) | 1・2年後期中間試験・3年卒業試験(～12月3日(金)) |
| 12月 4日(土) | 後援会委員総会 |
| 5日(日) | 第4回受験生・保護者学校説明見学会 |
| 7日(火) | 朝礼 |
| 9日(木) | 生徒による授業評価アンケート |
| 11日(土) | 創立60周年記念式典 |
| 15日(水) | 入試相談 |
| 18日(土) | 特設・希望者講習(～27日(月)) |

2002 年度活動報告

2002 年度 収支決算書 (2002 年 9 月 1 日～2003 年 8 月 31 日)

(単位: 円)

収支	科 目	決 算	備 考
収 入	1. 前年度繰越金	2,846,634	
	2. 入 会 金	4,690,000	10,000 円 * 469 名
	3. 維 持 会 費	159,000	
	4. 特定預金繰入	1,775,000	
	5. 預 金 利 息	3,819	
	6. 雑 収 入		
	合 計	9,474,453	
支 出	1. 会 議 費	340,678	役員会食事代 (いとし会含む)、他
	2. 広 報 費	20,000	連合会会報代
	3. 渉 外 費	125,000	連合同窓会会費
	4. 印 刷 費	2,144,178	会報作成費 他
	5. 通 信 費	1,316,380	会報送料、はがき代、他
	6. 旅費交通費	188,940	連合同窓会・役員会 (いとし会含む)、他
	7. 用 品 費		
	8. 事 務 雑 費	997	カードケース
	9. 補 助 費		
	10. 記 念 品 費	312,480	卒業記念品 (証書ホルダー)
	11. 特 定 預 金		
	12. 雑 費	127,750	吹奏楽部お礼、弁当代 (いとし会)、他
	13. 次年度繰越金	4,898,050	
	合 計	9,474,453	

2002 年度 特定預金

(単位: 円)

項 目	金 額
前年度よりの繰越額	11,775,000
今年度繰出額	1,775,000
今年度繰入額	0
合 計	10,000,000

会計担当 杉山 守男
大塚 昭

監査の結果、収入・支出の各項目について、収支計算は公正妥当なものであることを認めます。

2004 年 9 月 1 日 監査役 本田 達雄
伊藤 信雄

2003 年～2004 年度事業計画

(2003 年 4 月 1 日～2004 年 8 月 31 日)

- 2003 年 9 月 6 日 役員会 (屋形船懇親会と同時に)
6 日 屋形船懇親会開催
15 日 高輪会会報「Vol.8」発行
10 月 11 日 建学祭
～ 連合同窓会会長会議
12 日 連合同窓会 (熊本二高) 参加
11 月 29 日 役員会開催
2004 年 1 月 15 日 総合グラウンドクラブハウス落成式参加 (記念樹寄贈)
3 月 1 日 高輪会入会式参加、新幹事歓迎会
6 日 高輪会名簿 (2003 年版) 発行
6 日 高輪台高校卒業式参加
20 日 中島洋介先生壮行会
4 月 2 日 高輪台高校入学式参加
17 日 総会対策予備打合せ会
5 月 15 日 連合同窓会会長会議出席
7 月 3 日 役員会事前打合せ会
31 日 役員会

お知らせ

□会費納入のお願い

会員の皆様には、同窓会費 1 年分 (2 千円) ～ 5 年分 (1 万円の一括) の納入を受け付けております。

何年分か明記の上、郵便局備え付け、または同封の振込用紙をご利用下さい。

口座番号 00100 - 9 - 155498

口座名 (加入者名) 高輪会

※氏名欄には、必ず卒業年、組をご記入下さい。

尚、すでに納入済みの節はご容赦下さい。

□住所不明者の調査

会報の届かない方 (住所不明者) がいらっしゃいましたら、情報 (氏名、卒業年、等) を同窓会事務局までご連絡下さい。

□会員名簿発行

平成 16 年 3 月末に 2003 年度版同窓会会員名簿を発行致しました。

名簿詳細に関しましては、下記同窓会連絡先の高輪会事務局分室までお問い合わせ下さい。

☆高輪会の学校側の事務担当として、活躍して頂いた中島洋介先生が 4 月よりデンマーク校に赴任されたため後任として、藤原広司先生が就任されました。

編集後記

会員の皆様により良い情報をお伝えし、高輪会を活用して皆様の「和」が広がることを目標に発行している高輪会会報も、会員皆様のご協力により、第 9 号を発行することが出来ました。お礼申し上げます。

「継続は力なり」で、皆様楽しんで頂ける会報を目指し、努力していきたいと思っております。これからも多くの同窓生の声を紙面に取り入れていきたいと考えていますので、事務局までご意見、ご希望、次回の会報に掲載したい記事等ございましたらどうぞお寄せ下さい。

皆様のご協力よろしくお願い致します。

(三浦 政彦・浅野 修一)

同窓会連絡先

高輪会 (東海大学付属高輪台高等学校 同窓会) 事務局
〒108-8587 東京都港区高輪 2-2-16
TEL: 03-3448-4011 ・ FAX: 03-3448-4020
ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>
高輪会事務局分室 (株)山久プランニング内 (東海大学付属高輪台高等学校同窓会 伊藤信雄)
〒107-0062 東京都港区南青山 4-1-11 リライアンスビル 303
TEL: 03-3405-7283 ・ FAX: 03-5414-5414
E-mail: syamakyu@sepia.ocn.ne.jp